

テルモ

耐熱塗料

概要

テルモは、高温の特殊な腐食環境から、金属を保護する、耐熱特殊合成樹脂（シリコン樹脂など）を主体とした耐熱塗料です。
又、テルモNCシリーズは有害とされる鉛・クロム等の重金属を配合していません。



種類と 使用区分

テルモの種類と耐熱使用区分は、次のとおりです。

品名	種類	使用区分
テルモ200NC3	下塗 (グレー) 上塗 (シルバー・特定色)	100~200℃まで (瞬間最高 250℃)
テルモ300NC3	下塗 (グレー) 上塗 (シルバー・特定色)	150~300℃まで (瞬間最高 350℃)
テルモ400NC2	下塗 (グレー) 上塗 (シルバー・特定色)	150~400℃まで (瞬間最高 450℃)
テルモ600NC2	下塗 (グレー) 上塗 (シルバー)	150~500℃まで (瞬間最高 600℃)
耐酸テルモ	二液形 (黒色)	200℃まで (瞬間最高 250℃)
SDジンク1000P	一次プライマー	テルモ200NC3・300NC3・400NC2 システム的一次プライマーとして 150~400℃まで(瞬間最高 500℃)
SDジンク1500AP	防食用下塗	テルモ200NC3・300NC3・400NC2システムの下 塗りとして150~400℃まで(瞬間最高 500℃)

注1) テルモ600NC2の上塗りはシルバーのみです。

注2) 耐酸テルモは黒色のみです。

注3) 特殊用途やご指定色については当社へお問い合わせください。

推奨用途

- 1) ボイラー・ストーブなどの外面
- 2) 石油精製プラントの高温部など
- 3) 乾燥機外面など
- 4) 自動車など内燃機関の排気管
- 5) その他 (煙道内面)

希釈 シンナー 使用区分

エナメルシンナー 200	テルモ200NC3・テルモ300NC3・テルモ400NC2・ テルモ600NC2・耐酸テルモ
SDジンク1000シンナー	SDジンク1000P
SDジンク1500シンナー	SDジンク1500AP

塗装仕様

- 1) 使用する温度・素地状況等によって塗装仕様は1から8まであります。
- 2) このうち、無機質ジンクリッチペイント、すなわちSDジンク1000Pあるいは1500APをそれぞれ一次プライマーまたは下塗りとして用いると、防食性が一段と向上します。
- 3) 高温により無機質ジンクリッチペイントが適用できない場合は仕様7のテルモ600NC2システムをご利用ください。
- 4) 煙道内面用としては仕様8の耐酸テルモをご使用ください。
- 5) 以下塗装仕様の塗装方法・記号は、AL: エアレススプレー塗り、B: ハケ塗り、を示します。

100～200℃ の場合 塗装仕様1

塗装区分	工程	塗料名および処置	塗装方法	標準塗付量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)		
工場	1	素地調整	ブラスト処理 (ISO Sa2 ½・SSPC SP-10 以上)					
	2	下塗 (1回)	SD ジンク 1500AP 100 SD ジンク 1500 シンナー 0～5	AL または B	AL : 0.40 B : 0.38	50	48時間以上 6ヶ月以内	
現地	3	ミスト コート※ (wet on wet方式)	テルモ 200NC3 シルバーまたは特定色 100 エナメルシンナー 200 10～30	AL または B	シルバー	AL : 0.12 B : 0.09	15	12時間以上 7日以内
					特定色	AL : 0.14 B : 0.11	25	
現地	4	上塗 (1回)	テルモ 200NC3 シルバーまたは特定色 100 エナメルシンナー 200 0～5	AL または B	シルバー	AL : 0.12 B : 0.09	15	12時間以上 7日以内
					特定色	AL : 0.14 B : 0.11	25	

※) ミストコートは、wet on wet方式 (2～5分の塗装間隔) で2回に分けて塗装を行ってください。

塗装仕様2

塗装区分	工程	塗料名および処置	塗装方法	標準塗付量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)		
工場	1	素地調整	ブラスト処理 (ISO Sa2 ½・SSPC SP-10 以上)					
	2	一次 プライマー (1回)	SD ジンク 1000P 100 SD ジンク 1000 シンナー 0～10	AL または B	AL : 0.20 B : -	15	24時間以上 10ヶ月以内	
	3	下塗 (2回)	テルモ 200NC3 下塗 100 エナメルシンナー 200 0～5	AL または B	AL : 0.16 B : 0.12	30	12時間以上 7日以内	
現地	4	上塗 (2回)	テルモ 200NC3 シルバーまたは特定色 100 エナメルシンナー 200 0～5	AL または B	シルバー	AL : 0.12 B : 0.09	15	12時間以上 7日以内
					特定色	AL : 0.14 B : 0.11	25	

- 注1) 塗装仕様1・2とも無機質ジンクリッチペイントとシリコン樹脂系塗料を組み合わせたもので、塗膜は通常200℃までの温度に耐え、瞬時最高250℃まで上昇しても塗膜に異常が認められません。
- 注2) 塗装仕様2で、上塗りをハケ塗りするとテルモ200NC3下塗がにじむ場合がありますが、上塗りを2回塗りするか、エアレススプレー塗りすれば、にじみがとまります。この場合、塗膜性能には問題ありません。
- 注3) 塗装仕様2で、工場または現地で上塗りまで塗装する場合は工程2 (一次プライマー) を省略できますが、塗装した方が防食性が一段と向上します。
- 注4) SDジンク1000Pおよび1500APは、液と垂鉛末に分かれています。混合割合などの使い方は、使用方法に従ってください。
- 注5) 塗装直後に加熱するとワキ発生の恐れがありますので、一昼夜以上放置してから加熱してください。
- 注6) 使用開始時には徐々に昇温してください。急激に昇温すると、上塗りにふくれが生ずることがあります。ふくれが生じた場合は、上塗りのみ補修してください。
- 注7) 上塗りにはシルバー以外に特定色を塗ることもできますが、色によっては熱による変退色が大きく (特に淡彩色)、シルバー仕上げが安定しています。また、色に制限がありますので、別途ご相談ください。

200～300℃ の場合 塗装仕様3

塗装区分	工程	塗料名および処置	塗装方法	標準塗付量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)		
工場	1	素地調整	ブラスト処理 (ISO Sa2 ½・SSPC SP-10 以上)					
	2	下塗 (1回)	SD ジンク 1500AP 100 SD ジンク 1500 シンナー 0～5	AL または B	AL : 0.40 B : 0.38	50	48時間以上 6ヶ月以内	
現地	3	ミスト コート※ (wet on wet方式)	テルモ 300NC3 シルバーまたは特定色 100 エナメルシンナー 200 10～30	AL または B	シルバー	AL : 0.12 B : 0.09	15	12時間以上 7日以内
					特定色	AL : 0.14 B : 0.11	25	
現地	4	上塗 (1回)	テルモ 300NC3 シルバーまたは特定色 100 エナメルシンナー 200 0～5	AL または B	シルバー	AL : 0.12 B : 0.09	15	12時間以上 7日以内
					特定色	AL : 0.14 B : 0.11	25	

※) ミストコートは、wet on wet方式 (2～5分の塗装間隔) で2回に分けて塗装を行ってください。

塗装仕様4

塗装区分	工程	塗料名および処置	塗装方法	標準塗付量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)	
工場 または 現地 (ただし 工程2 は省力 できる)	1	素地調整	プラスト処理 (ISO Sa2 1/2・SSPC SP-10 以上)				
	2	一次プライマー (1回)	SD ジンク 1000P 100 SD ジンク 1000 シンナー 0~10	AL または B	AL : 0.20 B : -	15	24時間以上 10ヶ月以内
	3	下塗 (2回)	テルモ 300NC3 下塗 100 エナメルシンナー 200 0~15	AL または B	AL : 0.20 B : 0.15	30	12時間以上 7日以内
現地	4	上塗 (2回)	テルモ 300NC3 シルバーまたは特定色 100 エナメルシンナー 200 0~5	AL または B	シルバー AL : 0.12 B : 0.09	15	12時間以上 7日以内
					特定色 AL : 0.14 B : 0.11		

注1) 塗装仕様3・4とも無機質シンクリッチペイントとシリコン樹脂系塗料を組み合わせたもので、塗膜は通常300℃までの温度に耐え、瞬時最高350℃まで上昇しても塗膜に異常が認められません。

注2) 塗装仕様4で、上塗りをハケ塗りするとテルモ300NC3下塗がにじむ場合がありますが、上塗りを2回塗りするか、エアレススプレー塗りすれば、にじみがとまります。この場合、塗膜性能には問題ありません。

注3) 塗装仕様4で、工場または現地で上塗りまで塗装する場合は工程2 (一次プライマー) を省略できますが、塗装した方が防食性が一段と向上します。

注4) 塗装直後に加熱するとワキ発生の恐れがありますので、一昼夜以上放置してから加熱してください。

注5) SDジンク1000Pおよび1500APは、液と亜鉛末に分かれています。混合割合などの使い方は、使用方法に従ってください。

注6) 使用開始時には徐々に昇温してください。急激に昇温すると、上塗りにふくれが生ずることがあります。ふくれが生じた場合は、上塗りのみ補修してください。

注7) 上塗りにはシルバー以外に特定色を塗ることもできますが、色によっては熱による変退色が大きく (特に淡彩色)、シルバー仕上げが安定しています。また、色に制限がありますので、別途ご相談ください。

300~400℃ の場合

塗装仕様5

塗装区分	工程	塗料名および処置	塗装方法	標準塗付量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)	
工場	1	素地調整	プラスト処理 (ISO Sa2 1/2・SSPC SP-10 以上)				
	2	下塗 (1回)	SD ジンク 1500AP 100 SD ジンク 1500 シンナー 0~5	AL または B	AL : 0.40 B : 0.38	50	48時間以上 6ヶ月以内
工場 または 現地	3	ミストコート※ (wet on wet方式)	テルモ 400NC2 シルバーまたは特定色 100 エナメルシンナー 200 10~30	AL または B	シルバー AL : 0.11 B : 0.08	15	12時間以上 7日以内
					特定色 AL : 0.14 B : 0.10		
現地	4	上塗 (1回)	テルモ 400NC2 シルバーまたは特定色 100 エナメルシンナー 200 0~5	AL または B	シルバー AL : 0.11 B : 0.08	15	12時間以上 7日以内
					特定色 AL : 0.14 B : 0.10		

※) ミストコートは、wet on wet方式 (2~5分の塗装間隔) で2回に分けて塗装を行ってください。

塗装仕様6

塗装区分	工程	塗料名および処置	塗装方法	標準塗付量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)	
工場 または 現地 (ただし 工程2 は省力 できる)	1	素地調整	プラスト処理 (ISO Sa2 1/2・SSPC SP-10 以上)				
	2	一次プライマー (1回)	SD ジンク 1000P 100 SD ジンク 1000 シンナー 0~10	AL または B	AL : 0.20 B : -	15	24時間以上 10ヶ月以内
	3	下塗 (2回)	テルモ 400NC2 下塗 100 エナメルシンナー 200 0~5	AL または B	AL : 0.18 B : 0.14	30	12時間以上 7日以内
現地	4	上塗 (2回)	テルモ 400NC2 シルバーまたは特定色 100 エナメルシンナー 200 0~5	AL または B	シルバー AL : 0.11 B : 0.08	15	12時間以上 7日以内
					特定色 AL : 0.14 B : 0.10		

注1) 塗装仕様5・6とも無機質シンクリッチペイントとシリコン樹脂系塗料を組み合わせたもので、塗膜は通常400℃までの温度に耐え、瞬時最高450℃まで上昇しても塗膜に異常が認められません。

注2) 塗装仕様6で、上塗りをハケ塗りするとテルモ400NC2下塗がにじむ場合がありますが、上塗りを2回塗りするか、エアレススプレー塗りすれば、にじみがとまります。この場合、塗膜性能には問題ありません。

注3) 塗装仕様6で、工場または現地で上塗りまで塗装する場合は工程2 (一次プライマー) を省略できますが、塗装した方が防食性が一段と向上します。

注4) SDジンク1000Pおよび1500APは、液と亜鉛末に分かれています。混合割合などの使い方は、使用方法に従ってください。

- 注5) 塗装直後に加熱するとワキ発生の恐れがありますので、一昼夜以上放置してから加熱してください。
 注6) 使用開始時には徐々に昇温してください。急激に昇温すると、上塗りにふくれが生ずることがあります。ふくれが生じた場合は、上塗りのみ補修してください。
 注7) 上塗りにはシルバー以外に特定色を塗ることもできますが、色によっては熱による変退色が大きく(特に淡彩色)、シルバー仕上げが安定しています。また、色に制限がありますので別途ご相談ください。

400～500℃ の場合

塗装仕様7

塗装区分	工 程	塗料名および処置	塗装方法	標準塗付量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)	
工場 または 現地	1	素地調整	ブラスト処理 (ISO Sa2 ½・SSPC SP-10 以上)				
	2	下塗 (2回)	テルモ 600NC2 下塗 100 エナメルシンナー 200 0～10	AL またはB	AL : 0.18 B : 0.14	30	12時間以上 7日以内
	3	上塗 (2回)	テルモ 600NC2 シルバー 100 エナメルシンナー 200 0～5	AL またはB	AL : 0.11 B : 0.08	15	12時間以上 7日以内

- 注1) 塗装仕様7は、シリコン樹脂塗料を組み合わせたもので、塗膜は通常500℃までの温度に耐え、瞬時最高600℃まで上昇しても塗膜に異常が認められません。
 注2) 500℃以上の高温で使用する場合は、必ず当社にご相談ください。
 注3) 塗装仕様7で、上塗りをハケ塗りするとテルモ600NC2下塗がにじむ場合がありますが、上塗りを2回塗りするか、エアレススプレー塗りすれば、にじみがとまります。この場合、塗膜性能には問題ありません。
 注4) 塗装直後に加熱するとワキ発生の恐れがありますので、一昼夜以上放置してから加熱してください。
 注5) 使用開始時には徐々に昇温してください。急激に昇温すると、上塗りにふくれが生ずることがあります。ふくれが生じた場合は、上塗りのみ補修してください。

200℃程度 で煙道内面 の場合

塗装仕様8

塗装区分	工 程	塗料名および処置	塗装方法	標準塗付量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (23℃)	
工場 工場 または 現地	1	素地調整	ブラスト処理 (ISO Sa2 ½・SSPC SP-10 以上)				
	2	下塗 (2回)	耐酸テルモ ベース 80 // 硬化剤 20 100 エナメルシンナー 200 0～5	AL またはB	AL : 1.40 B : 1.00	30	16時間以上 7日以内
	4	上塗 (2回)	耐酸テルモ ベース 80 // 硬化剤 20 100 エナメルシンナー 200 0～5	AL またはB	AL : 1.40 B : 1.00	30	16時間以上 7日以内

使用方法

- 1) 耐酸テルモはベースと硬化剤に分かれており、使用直前に混合して充分にかきまぜ、均一な状態にして用いて下さい。
- 2) SDジンク1000Pおよび1500APは、液と亜鉛末に分かれていますので、使用直前に液に亜鉛末を徐々に加えて充分にかきまぜ、均一な状態にして用いてください。
- 3) 上記以外の塗料はいずれも一液形ですので、使用前に充分にかきまぜて均一な状態にして用いてください。

塗 料 名	混 合 割 合	使用時限(20℃)
耐酸テルモ ベース // 硬化剤	80 : 20	約2時間
SDジンク1000P 液 // 亜鉛末	26.5 : 73.5	約5時間
SDジンク1500AP 液 // 亜鉛末	17.6 : 82.4	約6時間

使用上の 注意事項

- 1) 被塗物が屋内にあり・風雨・高温な条件にない場合で、しかも素地調整が完全に可能な場合は、下塗りを省略することができます。しかし、**屋外用構造物の耐熱塗装には、必ず下塗りが必要です。**
- 2) 屋外用構造物のように耐熱性と防食性が同時に要求される場合では、**特に素地調整が重要です。**サンドブラスト・ショットブラストなどで、さび・汚れ・旧塗膜などを入念に処理・除去してください（ISO Sa2½、SSPCSP-10以上）。このように素地調整を充分に行なうと、下塗りとして**無機質ジンクリッチペイントが使用でき、耐熱性と防食性が同時に満足されます。**したがって、工場での塗装が下塗りまでの場合には、必ず一次プライマー、あるいは下塗りとして無機質ジンクリッチペイント、すなわちSDジンク1000Pあるいは1500APを使用してください。
なお、素地調整にブラスト処理が採用できない場合はご相談ください。
- 3) 古い塗膜が残っているときは、必ず十分に除去してください。そのまま塗ると、付着性が悪くなります。
- 4) 上塗りのシルバーにはアルミニウム粉を用いておりますので、腐食作用の激しい化学工場などでは、変色することがあります。
- 5) 被塗物が高温の場合に塗装を行なうと危険です。常温またはそれに近い温度で塗装してください。
- 6) SDジンク1500APをハケ塗りする場合は、厚膜形塗料を塗装するのと同様に、棒塗りにより膜厚を確保してください。SDジンク1500APは、ウェットフィルムゲージでウェット膜厚を管理しながら塗装してください。ドライ50μmを確保するためには、ウェットで80~90μm必要です。
しかし、極端に厚塗りするとワレを生じますので、ウェット270μm（ドライ150μm）以上の厚塗りは避けてください。
- 7) 配合割合はすべて重量比で、シンナーでうすめて塗ります。スプレー塗りのときもこれに準じます。シンナーは必ず専用のシンナーを使ってください。
- 8) 塗装完了後、短時間で取扱う必要がある場合や、長期間屋外に放置される場合には、塗膜の損傷・汚れを防止し、初則の防食性能を発揮させるため、次の条件で焼付乾燥することをお奨めいたします。

テルモ200NC3下塗・上塗・耐酸テルモ	} 150~200℃ × 1時間
テルモ300NC3下塗・上塗	
テルモ400NC2下塗・上塗・テルモ600NC2下塗・上塗	
- 9) 80℃以下の場合、一般の塗料をお使いください。その方が防食性がよく、経済的です。
- 10) 塗装完了後、最初の昇温はできるだけゆっくりと行なってください。急激に昇温させると残留溶剤のため、厚膜部でフクレやワレを生じる場合があります。よって過度な厚塗りは避けてください。
- 11) テルモNC2シリーズとテルモNC3シリーズでの塗料の混合は避けてください。

荷姿・塗料性状および危険物表示

製品名	荷姿	混合割合	色	塗装間隔(20℃)	乾燥時間(20℃)		消防法による危険物	有機溶剤
					指触	半硬化		
テルモ200NC3 下塗	16kg・4kg	—	グレー	12時間～7日	1時間	3時間	第2石油類	第2種
テルモ200NC3 シルバー・特定色	16kg・4kg	—	シルバー・特定色	12時間～7日	1時間	3時間		
テルモ300NC3 下塗	16kg・4kg	—	グレー	12時間～7日	1時間	3時間		
テルモ300NC3 シルバー・特定色	16kg・4kg	—	シルバー・特定色	12時間～7日	1時間	3時間		
テルモ400NC2 下塗	16kg・4kg	—	グレー	12時間～7日	1時間	3時間		
テルモ400NC2 シルバー・特定色	16kg・4kg	—	シルバー・特定色	12時間～7日	1時間	3時間		
テルモ600NC2 下塗	16kg・4kg	—	グレー	12時間～7日	1時間	3時間		
テルモ600NC2 シルバー	16kg・4kg	—	シルバー	12時間～7日	1時間	3時間		
耐酸テルモ ベース	14.4kg	80 } 20 }	黒	12時間～7日	2時間	16時間	第1石油類	第2種
// 硬化剤	3.6kg						第2石油類	
SDジンク1000P	20kgセット	26.5 } 73.5 }	グレー	24時間～10カ月	—	3分	第1石油類	第2種
// ベース	6kg						第2石油類	
// 亜鉛末	14kg							
SDジンク1500AP	25kgセット	17.6 } 82.4 }	グレー	48時間～6ヶ月	30分	3時間	第2石油類	第2種
// 液	5kg							
// 亜鉛末	20kg							

試験結果

塗装仕様1～8について耐熱性を確認した結果を表に示します。

なお、試験片の作成要領は、サンドブラスト板(70×150×2.3mm)に前記の塗装仕様に準じてハケ塗りで規定塗膜厚に塗付し、最終塗装後、20℃・75%RHで7日間乾燥させ試験片としました。(ただし、SDジンク1000Pはスプレー塗装)

塗 装 仕 様	試験温度	塗膜状態	付着性
SDジンク1500AP(50μm×1)～テルモ200NC3シルバー(15μm×2)〈塗装仕様1〉	200±10℃	◎	◎
SDジンク1000P(20μm×1) ～テルモ200NC3 下塗(30μm×2)～テルモ200NC3シルバー(15μm×2)〈塗装仕様2〉	200±10℃	◎	◎
SDジンク1500AP(50μm×1)～テルモ300NC3シルバー(15μm×2)〈塗装仕様3〉	300±10℃	◎	◎
SDジンク1000P(20μm×1)～テルモ300NC3 下塗(30μm×2) ～テルモ300NC3シルバー(15μm×2)〈塗装仕様4〉	300±10℃	◎	◎
SDジンク1500AP(50μm×1)～テルモ400NC2シルバー(15μm×2)〈塗装仕様5〉	400±10℃	◎	◎
SDジンク1000P(20μm×1)～テルモ400NC2 下塗(30μm×2) ～テルモ400NC2シルバー(15μm×2)〈塗装仕様6〉	400±10℃	◎	◎
テルモ600NC2 下塗(30μm×2)～テルモ600NC2シルバー(15μm×2)〈塗装仕様7〉	500±10℃	◎	○
耐酸テルモ(30μm×4)〈塗装仕様8〉	200±10℃	◎	◎
	50% H ₂ SO ₄ 溶液 100H異常なし 温度差浸漬(80℃/常温)		

注1) 試験方法：乾燥機または電気炉を一定の温度に保ち、その中に試験片を入れ、100時間後の塗膜状態・付着性を確認する。

注2) 評価基準：塗膜状態(はがれ・われ) ……優◎ ↔ ○ ↔ △ ↔ ×劣

付着性(クロスカットテープテスト) ×◎ ⊗○ ⊗△ ⊗×

製品取扱 上の 注意事項 (安全衛生他)

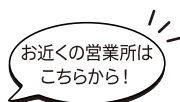
テルモおよびSDジンク1000P・1500APIは、第2種有機溶剤を使用しています。対象製品に限らず、一般に第2種・第3種有機溶剤を使用した塗料に共通な危険性と有害性があり、作業環境と取扱い方法が義務づけられています。(消防法、有機溶剤中毒予防規則)

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

- | | |
|----------------|---|
| 予 防 策 | <ul style="list-style-type: none">● 取り扱い作業中・乾燥中とともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。● 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。● 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。● 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。● 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。● 本来の目的以外に使用しないこと。● 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。● 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。● 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。● 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。● 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。 |
| 対 応 | <ul style="list-style-type: none">● 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。● 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。● 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。● 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。● 漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。● 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。 |
| 保 管 | <ul style="list-style-type: none">● 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。● 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。● 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。 |
| 廃 棄 | <ul style="list-style-type: none">● 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。） |
| 施工後の安全 | <ul style="list-style-type: none">● 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てであることを表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。 |
| 関 連 法 規 | <ul style="list-style-type: none">● 労働安全衛生法（特定化学物質等障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則）● 毒物及び劇物取締法● 消防法● 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 |

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



各種カタログご覧になれます。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。

(23年11月06刷 PPO) カタログNo.413